

Red Hat Enterprise Linux ライフサイクル

EUS, AUS, ELSの考え方

Kazuo Moriwaka

Solution Architect, Red Hat K.K.

2022-03-18



目的

EUS, AUS, ELSの利用有無を決めるための情報を提供する

概要

- RHEL 8の通常のライフサイクル
- 延長アップデートサポート(EUS)
- Advanced mission critical Update Support(AUS)
- 延長ライフサイクルサポート(ELS)
- 情報源

RHEL 8 ライフサイクル

RHEL 8からは、6ヶ月おきのマイナーリリース出荷と3年おきのメジャーバージョン出荷が宣言されています。

6ヶ月

マイナーリリース

3年

メジャーバージョン

RHELの標準的なポリシー

最新マイナーリリース

- メンテナンス
- 問い合わせ対応
- 機能拡張リクエスト(フルサポート中)

旧マイナーリリース

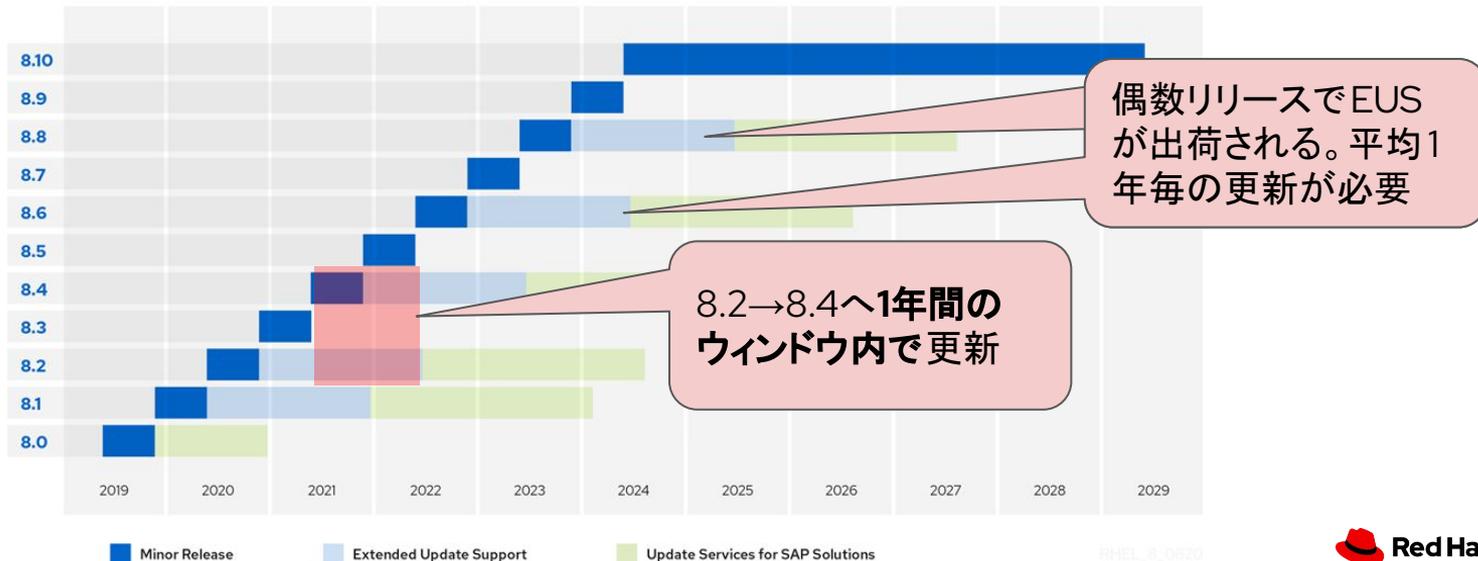
- 問い合わせ対応のみ
- 新規修正は不可

→ 脆弱性対応等が必要な場合は常に最新マイナーリリースを利用する

延長アップデートサポート (EUS)とは?

目的: Red Hat Enterprise Linux の新機能を利用する時期をお客様が柔軟に決められるようにすること

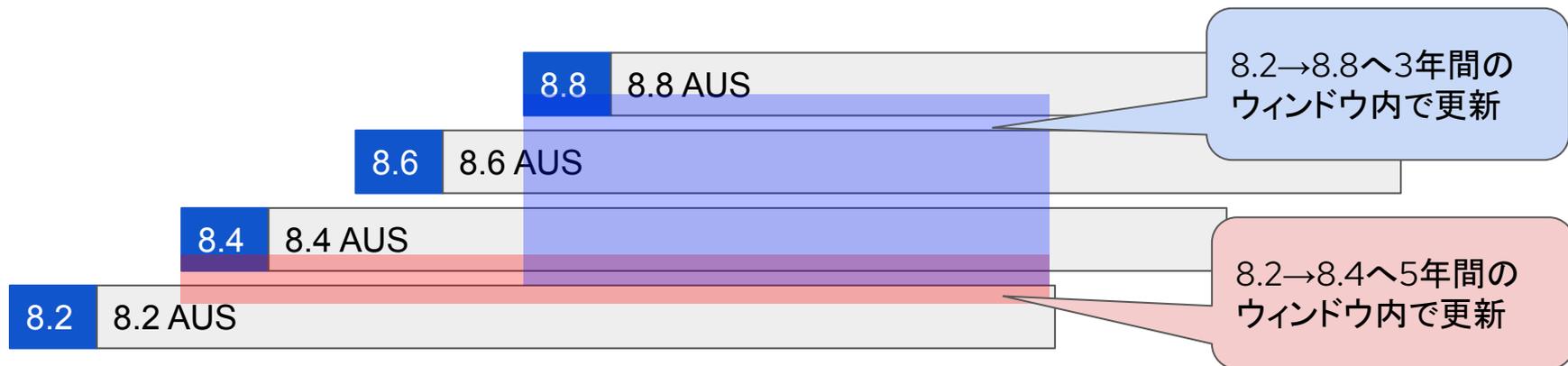
提供するもの: 特定マイナーリリースを最大2年メンテナンス (下図水色)



Advanced mission critical Update Support (AUS) とは?

※OEM限定の製品です。購入条件等はOEM各社にご確認ください。
提供するもの: EUSを4年延長し最大6年メンテナンス

移行ウィンドウをEUSでの1年からAUSでは5年に延長する
複数リリースのスキップも可



延長ライフサイクルサポート (ELS)とは?

目的: Red Hat Enterprise Linux のメジャーバージョンを移行できない場合の緊急避難として一部パッケージのメンテナンスを提供する

提供するもの: 最新のマイナーリリースに対する、一部のサブスクリプションかつ、一部アーキテクチャかつ、一部パッケージについてのメンテナンスおよび原因調査を含むサポート

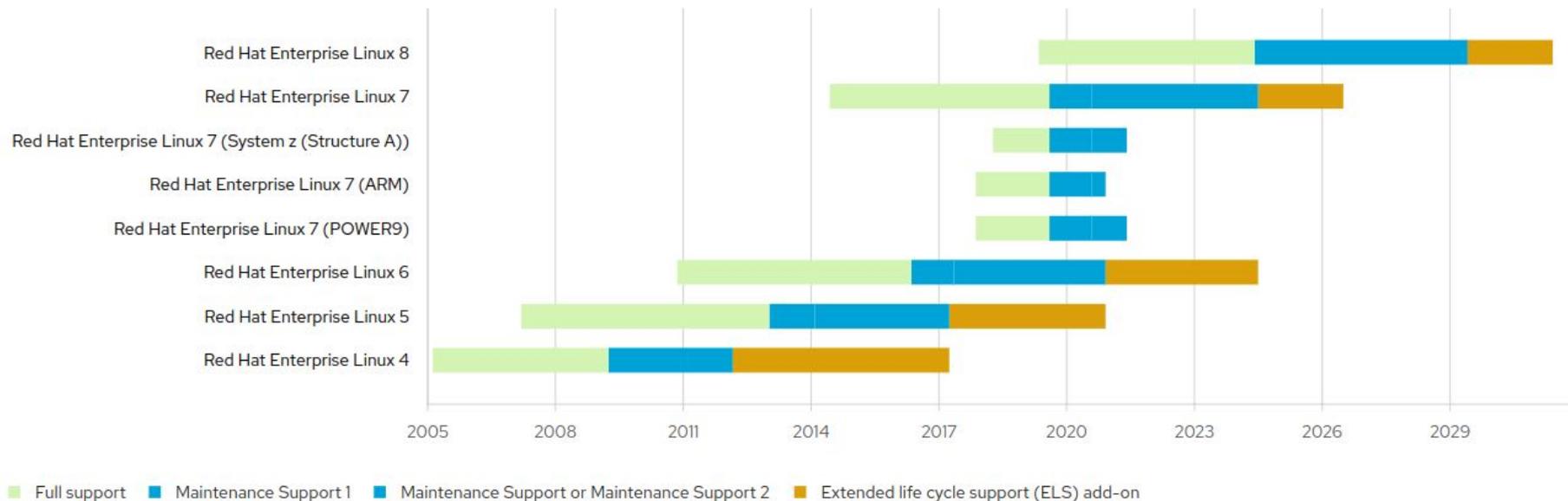
運用計画にELSの期間を算入しないことを推奨します。

2021年4月の時点でRHEL 7のELS期間は発表されていますが、サポート対象のパッケージなどは発表されていません。

ライフサイクルの日付

Version	General availability	Full support ends	Maintenance Support 1 ends	Maintenance Support or Maintenance Support 2 ends	Extended life cycle support (ELS) add-on ends	Extended life phase ends	Last minor release
Full support							
8	May 7, 2019	May 31, 2024	Not Applicable	May 31, 2029	May 31, 2031	Ongoing	8.10
Maintenance support							
7	June 10, 2014	August 6, 2019	August 6, 2020	June 30, 2024	June 30, 2026	Ongoing	7.9

各メジャーバージョンのライフサイクル



一次情報

Red Hat Enterprise Linux のライフサイクル

概要

Red Hat Enterprise Linux バージョン 6 および 7

Red Hat は、Red Hat Enterprise Linux のメジャーリリースごとに、フルサポート、メンテナンスサポート、メンテナンスサポート 2、および延長ライフサイクルと併せられる 4 のライフサイクルフェーズでサブスクリプションサービスを提供します。

- Red Hat Enterprise Linux のバージョン 6 および 7 の場合は、(よく)に設定がない限り) フルサポート、メンテナンスサポート 1、メンテナンスサポート 2 のフェーズからなる 3 年間のサポートと、その後 1 年間の延長ライフサイクルが提供されています。なお、Red Hat Enterprise Linux 6 のお客様は、延長ライフサイクルサポート (ELS) と呼ばれる半単位のアドオンサブスクリプションを購入すると、メンテナンスサポートフェーズ(後)後継高可用性サブスクリプションサービスを受けることができます。

例外

- Red Hat Enterprise Linux バージョン 7 のライフサイクル期間中、Red Hat は、Red Hat Enterprise Linux for IBM®、Red Hat Enterprise Linux for Power LE (POWER9)™、および Red Hat Enterprise Linux for IBM System z (Structure A) のリリースごとに、フルサポートフェーズ(メンテナンスサポート)または 2 フェーズ(延長)と、その後 1 年間の延長ライフサイクルのみ、サブスクリプションサービスを提供します。
- Red Hat Enterprise Linux バージョン 7 のライフサイクル期間中、Red Hat は、Red Hat Enterprise Linux Atomic Host のリリースごとに、フルサポートフェーズおよびメンテナンスサポート 2 フェーズ(メンテナンスサポート 2 フェーズは含まない)、その後延長ライフサイクルのみ、サブスクリプションサービスを提供します。

ライフサイクル

フェーズ	期間
Full Support	~5 年
Maintenance Support 1	1 年
Maintenance Support 2	~10 年
Extended Life Cycle Support (ELS) Ad-on	Extended Life Phase (ongoing)

Red Hat Enterprise Linux バージョン 8

Red Hat は、お客様、パートナー、OEM におけるライフサイクルの計画と、Red Hat Enterprise Linux エコシステムの重要性を理解しています。Red Hat Enterprise Linux バージョン 8 の導入に、4 つに分かれた 96L の製品フェーズは、フルサポート、メンテナンスサポート、および延長ライフサイクルの 3 つのフェーズへ延長化されました。また、リリース後および延長サポートを提供するマイナーリリースに関する情報も提供しています。

- Red Hat Enterprise Linux バージョン 8 では、フルサポートおよびメンテナンスサポートが 2 フェーズから 3 年間のライフサイクルから、延長ライフサイクルを提供します。Red Hat Enterprise Linux 8 のお客様は、メンテナンスサポートフェーズ(延長)に、高可用性サブスクリプションサービスを延長する、延長ライフサイクルサポート (ELS) と呼ばれる半単位のアドオンサブスクリプションを購入することができます。

ライフサイクル

Red Hat Enterprise Linux のライフサイクル

<https://access.redhat.com/ja/support/policy/updates/errata>

Advanced mission critical Update Support (AUS) とは何ですか?

<https://access.redhat.com/ja/solutions/4319441>

Thank you



[linkedin.com/company/red-hat](https://www.linkedin.com/company/red-hat)



[youtube.com/user/RedHatVideos](https://www.youtube.com/user/RedHatVideos)



[facebook.com/redhatinc](https://www.facebook.com/redhatinc)



twitter.com/RedHat